

第701回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

I B Cラジオ

「よこっちピーマンの熱血ラジオ塾」

2025年6月17日 (火)

(株) I B C 岩手放送

第701回IBC番組審議会

1. 開催日時 2025年6月17日(火) 午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 9名

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長	田代 高章
副委員長	熊谷 志衣子
委員	郷右近 勤
	柴田 千春
	後藤 高宏
	繁田 奈菜子
	龍澤 尚孝
	高橋 司
	菊地 文彦 (レポート)

会社側出席者

眞下 卓也	代表取締役社長
八木 宏樹	常務取締役編成局長
兼平 宗彦	取締役メディアセンター長
佐藤 峻	ディレクター
角掛 勝志	ラジオ放送部長

事務局

藤原 崇史	番組審議会事務局長
切替 郁恵	番組審議会事務局員
平澤 泰志	番組審議会事務局員

4. 議題

IBCラジオ 「よこっちピーマンの熱血ラジオ塾」

5月26日(月) 午後6時15分～午後7時 放送

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- よこっちピーマンと徳岡アナウンサーの2人のトークがとにかく楽しいと感じた。よこっちピーマンの話は歯切れが良く、時折「やらさる」とか「すまさる」など花巻弁が出てくるのも面白い。徳岡アナウンサーもトーク番組は初めてという事だが、自然な形で会話が成り立っており音楽の挟み方も良かった。

- 夕方の時間帯で家事や運転、仕事中の「ながら聴き」に適しており、忙しい日常の中で気軽に楽しめる番組だと評価した。徳岡アナウンサーの女子力が非常に高く、よこっちピーマンがたじたじとなっているように見えた点も2人の人柄が出ていて良い。

- 穴の開いた靴下でプロポーズをするくだりは特に印象に残った。結婚する人が減りプロポーズという言葉もあまり使われない時代に若い2人からこのような会話が出てくるのは新鮮に感じられた。会話は、2人の人間性や真面目さ、温かさが伝わり、「また聴いてみたい」と感じた。

- タイトルの「熱血ラジオ塾」について、よこっちピーマンさんが熱血漢であることは理解できるものの、「熱血」「塾」である意味が番組を聴く限りではピンとこなかった。

- 若い人がラジオを聴く習慣を持ってもらうためにも、何か挑戦する、あるいは挑戦する人を取り上げるような参加型・双方向性を強化して、もっと若い人がラジオを聴くような企画に挑戦していけば良いのではないかと。

- 番組冒頭で収録である旨のアナウンスがあったが、言う必要があったのか。ラジオはリアルタイムで誰かが話しているという安心感や身近さを感じるものなのでより安心に繋がるラジオになってほしい。

- 番組中で音楽が流れたが、やや唐突に感じた。曲を選んだ理由など一言添えるだけでも番組全体の流れが自然になると思った。